

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第125号 2014年 6月

# やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラスとみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内  
045-412-2255 <http://www.ktm.or.jp> E-mail:midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

## やどりき水源林のビューポイント

周遊歩道Aコース途中には、木々の間から遠景を眺めることができるビューポイントがあります。Aコース周遊や、「成長の森」見学の際は、ぜひここからの眺望をお楽しみください。



① 平成19年度「成長の森」近くのこの場所からは、寄沢上流域及び鍋割山に続く稜線が望めます。



② ここからは寄集落方面、さらに条件がよければ相模湾や伊豆大島まで見渡すことができます。



Aコースで見つけた、林床にひっそりと咲く、地味だけど味わい深い花のいくつか。



フタリスズカ：2本の花穂が、虚実2人の静御前を連想します。



トチパニンジン：中央の茎先の花がもうすぐ開花です。



タツナミソウ：比較的日当たりのよい所に咲いています。

マルバウツギ、バイカウツギ、ガクウツギ、ニシキウツギなどは、そろそろ花の盛りの終わりです。4月のヒメウツギから始まったやどりき水源林の各種ウツギは、6月に本家ウツギでクライマックスを迎えます。



マルバウツギ：5月の水源林を飾ったマルバウツギ。



バイカウツギ：バイカ(梅花)の名の通り、梅の花に似ています。



ガクウツギ：装飾花の大きさがばらばらなのが特徴です。



ウツギ：そろそろ開花が始まりました。6月の水源林の主役です。

この時期、ウツギの仲間以外にも、特徴ある花をつける植物を見つけることができます。



ヤマボウシ：花の白い部分は総苞片で、上向きにつきます。白と緑の葉の取り合わせが美しい。



ジャケツイバラ：カギ状の刺を他の樹木等に引掛けてよじ登り、枝先に総状花序をつけます。



ウリノキ：白い花弁がクルリと巻くユニークな花です。



エゴノキ：白い清楚な花が、垂れ下がるように咲きます。

以上写真撮影：6月1日

## 森林再生パートナー活動の紹介

神奈川県には、水源の森林づくりに対する企業・団体からの参加協力の仕組みとして、森林再生パートナー制度があります。5月24～25日、やどりき水源林で、神奈川トヨタ自動車(株)の皆さまで、森林に親しむ活動を行いました。丸太のベンチ作り、森林癒し体験、水生生物観察など、森林にふれる様々なイベントを楽しんでいただきました。



丸太切り

前回の活動で伐採した間伐木を、ノコギリでベンチのサイズに切断しました。



完成したベンチ

切断した丸太を組み合わせて、ベンチを作りました。週遊歩道の良い休憩スポットになりました。



森林癒し体験

木漏れ日のもれる林の中でハンモックの体験をしました。ゆらゆら気持ちよさそう。



水生生物観察

寄沢の中に入り水生生物の採取を行い、見つけたものにチェックを入れて、ピング大会を行いました。

### 6月のトピックス

ウツギの花が満開です。そして、梢からは南の国からやってきたオオルリやホトトギス、沢からはカジカガエルの鳴き声が聞こえ、6月のやどりき水源林は、一年の中でも最も生命感あふれる季節です。

### 7月の水源林

水源林の緑はさらに濃くなって夏の装いになります。ヤマアジサイ、ツルアジサイ、イワガラミなどアジサイの仲間が見頃です。特に管理棟横のイワガラミ(右)は、高木を這い登って見事です。

